

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	通所支援ベルテール大塚園		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムについて常に見直しを行い児童が楽しみにしている活動を取り入れている。 静と動のメリハリがついていて落ち着いた環境を整えている。	活動プログラムは飽きないよう職員間で話し合い見直しを行ったり新しい活動を取り入れるようにしている。 子どもの意思決定の場面を意識的に設け主体的に活動できるように支援している。 静と動を意識し時間と場所を分ける工夫を行っている。	特性を踏まえた児童の対応を行いバランスを保てるようにする。 環境設定についてどの職員も意識して行えるようにする。
2	安全・研修など法人の教育体制が整っている。園内でも情報共有を行っている。	学んだ内容を職員間で共有することで、支援の質と安全意識の統一を図っている。療育ではベルテールちゃんねるなど他園の取り組みを参考にしたり、安全面ではヒヤリハット・事故報告を共有し事故防止に努めている。	法人の研修や安全管理体制を活かしながら、研修内容の共有の機会を今後も設ける。職員間で共通理解を深め安全で質の高い支援の充実を図る。
3	職員間の連携がとれており意見交換や質問がしやすい雰囲気である。	困りごとや気づいた点は早めに共有し、チーム全体で解決する意識を持てるようにしている。 定期的なミーティングや申し送りを活用し、立場や経験年数に関係なく意見を出せるよう配慮している。	出された意見や提案を検討・実行し、その結果を共有することで、「発言が職場改善につながる」実感を持てるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童の特性や活動内容によっては、落ち着いた環境づくりに工夫を要する場面がある。また、トイレが一つのため、利用が重なる時間帯には配慮が必要となることがある。	児童の特性や体調、活動内容によって環境への配慮が必要となる場面があることに加え、施設の構造上、空間や設備に限りがあることが課題の要因と考えられる。	児童の特性や状況に応じて活動内容や空間の使い分けを行い、落ち着いて過ごせる環境づくりに努めていく。また、職員間での情報共有を強化し、トイレ利用が集中しやすい時間帯については声かけや誘導の工夫を行うなど、限られた設備の中でも安全で円滑な支援が行えるよう取り組んでいく。
2	地域の店舗や公共施設の利用は行っているものの、児童が地域の方や他者と交流する機会は十分に確保できていない場面がある。	児童一人ひとりの特性や安全面への配慮が必要なこと、職員の人数や時間的制約により、地域での交流活動を十分に計画・実施できていないことが要因と考えられる。	地域行事や交流イベントへの参加機会を設けるとともに、職員間で事前に計画を共有し、安全面に配慮したうえで児童が地域の方々と関わる体験を少しずつ広げていくよう取り組む。
3	保護者からの相談を受ける機会が十分に確保できていない。毎月お知らせで呼びかけているものの、利用につながるケースが限られている。	保護者の多忙や相談しやすいタイミングの確保が難しいこと、また手段が手紙のみであることが、相談機会の少なさに繋がっていると考えられる。	送付するお知らせの内容やタイミングを工夫し、保護者が気軽に相談できる仕組みづくりに取り組む。